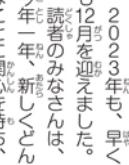


The Third Year



も12月を迎えるました。読者のみなさんは、今年一年、新しくどんなことを関心を持ち、どんなことに挑戦しましたか? ジャズスクール「SDGs for School × 曹洞禪」のメンバーも、イベントへの出展や様々な活動とそこに携わった人の取材など、たくさんの方へ挑戦と学びをいた気づき、成長した感じられます。あつたと思います。今回は、「読者のみなさんに伝えたい!」という想いを込めて発信してくれたメンバーが、これまでの活動から得た気づきについて書いてもらいました。

私は4月からこの活動に参加してみて、執筆やミーティング、公開オンライン取材などを経験する事ができました。このような経験から、私自身が成長できたなと思うところは書き付けで。今まで、書き付けは行っていました。ですが、後からもう一回見返してみると、不要な情報を書きすぎて何を伝えたくて書いていたのか分からぬ文や、お話を聞いていたことを自分の言葉にせずには覚えていない。作文を書く時には覚えていない。出来事もありました。それらの反省点を踏まえ



○るーな
・高校1年生

て、私は書き付けをする時には、心の変化、お話を聞いた後の心特にこの三つを意識して書き付けるようにしました。他の人が見たら当たり前を感じるかもしれません。ですが、これから自分が成長し続けていけるよう、そんな活動にしていきたいと思いつきました。



○Kako
・高校2年生

私はこの活動を始めて成長したことは、「伝えたい思いを自分なりの表現で伝えることができるようになった」とことです。それは、自分なりの表現で感じたことや伝えたかったことなどを、文字を通してどう伝えれば良いのか分からず、過去の記事を真似したりメンバーの

原稿を読んで執筆していました。そんな中、アースティックや様々な取材を通して「自分にしか出せない言葉や表現で感じたことや伝えたい思いを文字にしていきたい」と思つようになりました。その理由は取材させていただいた方が独自の表現や考え方を持っており、自分の表現や考え方を参考に活動に活かしていくからです。そこで影響を受け、現在は徐々に自己なりの言葉で、自分が感じたことや読者のみなさんに知つてほしい形で表現できるようになりました。より伝わりやすい自分なりの表現はまだまた模索中ですが、これからも読者のみなさんの心に留まるような表現で執筆を続けていきます。よろしくお願いします!



○みのり
・高校2年生

への「意識」ということについて考えることが多くなりました。私がSDGs活動に取り組んでいってだけ一緒に未来への意識を持っています。これから一緒に未来への意識を持った活動する仲間を作っていましたが、周りとの温度差に悩んだこともあります。しかし、今年度の「てらスクール」でJICAの八星さんはお話しやチロル堂の吉田さんのお話を聞いて、少し考えが変わりました。それは、たどり良い未来を追い求めることではなく、自分の身の周りで困っていることを解決したり自分にとって楽しいことに参加してみると、結果は、自分なりに成長していくことになりました。それは、たどり良い未来に向かっていきたいと思いました。

をしていて、その活動がどう伝播していくのかを常に気にながら活動について考えるようになります。たたかみます。私は1年間の執筆活動を通して、楽しんでいただけましたか? 「SDGs」に関する様々な活動の本質を考える力を身につけることができました。例えば、夏企画の「チロル堂」への取材では、貧困や子ども食堂などについて活動を通じて、超えて活動している方のお話を聞き、お腹が空いている人がいるなき、お腹をあげればいいということが何を変えるために、どのような活動

<https://www.kawaijuku.jp/jp/research/sch/> となります。調査結果の中には、高校卒業後の「他者理解力、リーダーシップ力、社会文化探究心」という資質・能力を向上させながら、主体的に成長していく若者には高校時代には、ストレートのかかる活動への挑戦や、中高生時代の「探究的な活動」を積極的に行っていくことが関与するという報告がありました。「てらスクール」の活動も探求活動の一つと捉えられます。読者のみなさんはいかがでしょうか。もし、挑戦に困っていたら、てらスクール」のイベントに参加してみたり、執筆活動に挑戦してみませんか?

1年間私たちの記事を読んでください、ありがとうございました! 楽しんでいただけましたか? 「SDGs」に関する様々な活動の本質を考える力を身につけることができました。例えは、夏企画の「チロル堂」への取材では、貧困や子ども食堂などについて活動を通じて、超えて活動している方のお話を聞き、お腹が空いている人がいるなき、お腹をあげればいいということが何を変えるために、どのような活動

来年もみんなさんに、ワクワクと内容の深さを提供できる記事を書けるように頑張ります。楽しみにしていてください!

中高生時代の挑戦は、一生もの!? 2013年当時、全国378校の高校2年生(約4,500名)を対象に、高校時代の活動がその後、大学時代や社会に出た際に、どのような影響を及ぼすかを調査する目的で、10年間の追跡調査が実施され、その成果が今年、発表されました(学校と社会をつなぐ調査(通10年トランジション調査)